

# 第65期 報 告 書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

- 1P 株主の皆様へ  
グループ連携による相乗効果の  
具現化を図り、新たな成長を目指す!
- 3P 進化し続けるOUGグループ  
新しい「水産物流通サービス業」の実現に向けて、  
セグメント事業間の連携をさらに強化し、  
相乗効果を発揮!
- 5P 財務の概況
- 7P 会社情報  
株式の状況
- 8P Information  
株主優待制度



代表取締役社長

**谷川 正俊**

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

本年3月11日に発生しました東日本大震災により、被災されました皆様には心からお見舞い申し上げます。

さて、当社第65期(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)の事業および財務の概況のご報告を申し上げます。

平成23年6月

## 事業の経過およびその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、一部に景気持ち直しの動きがみられたものの、海外経済の減速に円高などが重なり総じて足踏み状態のまま推移し、年度終盤から足踏み状態から脱しつつある動きがみられましたが、依然として雇用・所得環境は厳しく、デフレの状態のなか、個人消費は総じて低迷したまま推移いたしました。

また、平成23年3月11日に発生いたしました東日本大震災の景気への下押し圧力は計り知れず、先行き不透明な状況にあります。

水産物流通業界におきましては、消費者の低価格志向が浸透するなか、販売競争が激化し、海外からの調達コストが上昇するなど厳しい経営環境下にありました。

このような環境にあって、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の削減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

業績の状況につきましては、当連結会計年度の売上高は販売数量の確保に注力し、3,191億27百万円(前年同期比100.5%)となりました。

損益面では、売上総利益は229億99百万円(前年同期比98.7%)となり、営業利益は販売費及び一般管理費の間接経費全般について削減等効率化を進め11億89百万円(前年同期比139.6%)、経常利益は金融収支の改善に努め15億69百

# グループ連携による相乗効果の 具現化を図り、新たな成長を目指す！

万円(前年同期比127.3%)となりました。当期純利益は10億95百万円(前年同期比128.3%)となりました。

なお、セグメントの業績は次のとおりであります。

#### <水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業の売上高は取扱数量の増加などにより2,000億36百万円(前年同期比101.4%)、セグメント利益は間接経費全般の削減に努め7億81百万円(前年同期比125.2%)となりました。

#### <市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業の売上高は消費者の低価格志向の浸透や販売競争の激化などにより1,174億86百万円(前年同期比99.0%)、セグメント利益は1億38百万円(前年同期比56.9%)となりました。

#### <養殖事業>

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業の売上高は販売数量の増加により71億17百万円(前年同期比105.6%)、セグメント利益は給餌効率の改善に努め3億95百万円(前年同期比285.7%)となりました。

#### <食品加工事業>

消費地にある鮮魚加工センターにて輸入サーモンのフィレ加工およびハマチ、ブリ等の鮮魚加工、量販店向けにおにぎり等米飯加工などを行う食品加工事業の売上高は低価格化や販売競争の激化などにより32億28百万円(前年同期比87.7%)、セグメント利益は主要製品の原材料価格の高騰などにより2億80百万円の損失(前年同期3億11百万円の損失)となりました。

#### <その他>

グループの水産物流通を補完する物流事業等その他の

売上高は63億59百万円(前年同期比95.0%)、セグメント利益は52百万円の損失(前年同期20百万円の損失)となりました。

## 対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、設備投資、雇用・所得環境の回復の遅れ、デフレの長期化、資源・食料価格の高騰など景気回復に向けて先行き不透明な状況にあります。

また、東日本大震災の発生や原子力発電所の事故の影響などにより、サプライチェーン(供給体制)の混乱や電力不足で生産が抑制され、輸出や国内向けの出荷・販売が落ち込み、景気への下押し圧力が強まる厳しい状況にあると予測されます。

水産物流通業界におきましては、生活防衛意識の強まりから、消費者の購買意欲は低迷したまま、販売競争が激化するなど厳しい経営環境下にあると予測されます。

このような経営環境に対応するために、当社グループは、コア事業である「荷受事業」および「市場外事業」をさらに強化し、コア事業を支える「養殖事業」、「食品加工事業」、「物流事業」、「保険・リース事業」との連携を推進して競争優位を構築してまいります。

この方針のもと、当社グループは、グループ連携による相乗効果の具現化を図り、コア事業の営業基盤の強化とともに全事業の収益力を強化し、新たな成長を目指してまいります。

当社グループは、生産者から消費者までの水産物流通トータルシステムである新しい水産物流通サービス業を創造し、消費者に安全・安心を提供することにより、社会に貢献することを通じて企業価値を最大化してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

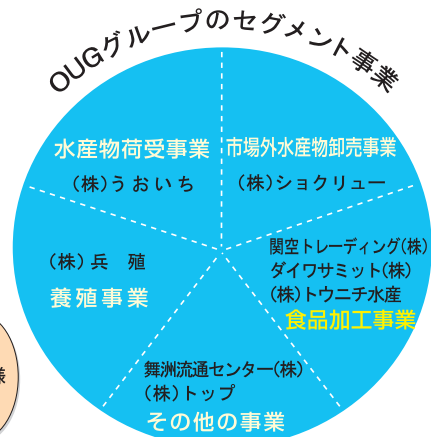
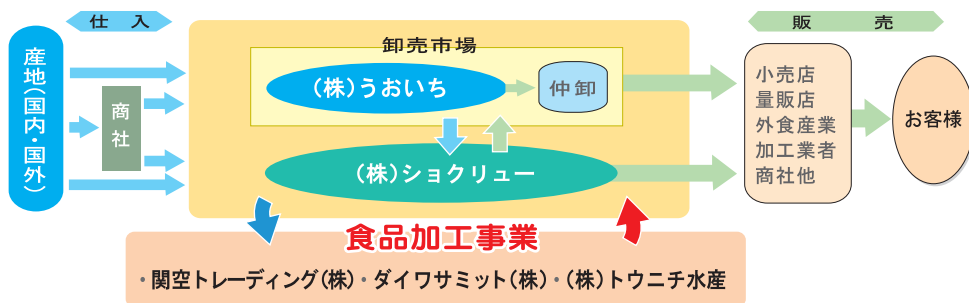


# 新しい「水産物流通サービス業」の実現に向けて、セグメント

## ■ コア事業を支える「食品加工事業」

当社グループは、「水産物荷受事業」と「市場外水産物卸売事業」の2つのコア事業を中心に、「養殖事業」、「食品加工事業」、「その他の事業」を加えた5つのセグメント事業を展開しております。今回は、その中でも、コア事業を支える事業のうち「食品加工事業」についてご紹介します。

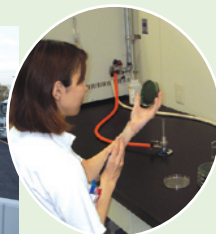
「食品加工事業」は、グループの流通機能において、両コア事業の商品の品揃えと販売の強化をサポートする役割を果たしております。



### 食品加工事業 関空トレ…ディング株式会社

同社は、関西国際空港対岸のりんくうタウンで、消費地加工センター(OUG加工センター)として国内外の鮮魚、冷凍魚の加工を行っております。

同社は、国内で初のチルドアトランティックサーモンフィーレ加工のHACCPを取得し、衛生管理を追求した工場加工された高鮮度、高品質の製品はグループ会社の「うおいち」や「ショクリュー」を通じて、取引先より高い評価をいただいております。





# 事業間の連携をさらに強化し、相乗効果を発揮!

## 食品加工事業 **ダイワサミット株式会社**

同社は、OUGグループの物流拠点である舞洲食品流通センターに工場を構え、おにぎり、寿司などの米飯加工・炊飯業を営んでおります。

同社は、工場の炊飯ラインにおいてHACCPを取得し厳しい品質管理の下で、全自動炊飯システムによる100釜+20釜の2ラインをはじめとする設備が、365日24時間稼働し、安定した供給を可能にしております。

同社の製品は、主に量販店へ提供されております。

また、マーケットに適合した商品開発により、品質と味で差別化を図り、高い評価をいただいております。



## 食品加工事業 **株式会社トウニチ水産**

同社は、刺身のケンを主体としたカット野菜の製造販売を行っております。

同社は、ケン製造に適した品種(大根)を季節に応じ、産地と協同で作付けを行うなど原料にこだわり、安全で安心な製品をお届けすることをモットーとしております。

同社の製品は、グループ会社の「うおいち」や「シヨクリュー」を経由して主に量販店へ販売されており、高品質で、張りとボリューム感のある製品は、取引先から長年にわたり、高い評価をいただいております。



## 財務の概況

### 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	期 別	(単位:百万円)	
		当 期 (平成23年3月31日現在)	前 期 (平成22年3月31日現在)
<b>資産の部</b>			
流 動 資 産		<b>45,681</b>	<b>44,011</b>
現金及び預金		2,349	2,586
受取手形及び売掛金		26,512	26,750
リース債権及びリース投資資産		70	19
商品及び製品		16,212	14,221
仕掛品		1	4
原材料及び貯蔵品		97	118
繰延税金資産		445	420
その他		935	812
貸倒引当金		△ 944	△ 922
固 定 資 産		<b>20,946</b>	<b>21,219</b>
有 形 固 定 資 産		<b>12,313</b>	<b>12,516</b>
建物及び構築物		3,303	3,600
機械装置及び運搬具		1,157	1,164
工具、器具及び備品		169	177
土地		7,022	7,105
リース資産		659	468
無 形 固 定 資 産		<b>2,489</b>	<b>1,771</b>
ソフトウェア仮勘定		2,316	1,568
その他		173	202
投 資 そ の 他 の 資 産		<b>6,143</b>	<b>6,932</b>
投資有価証券		5,046	5,787
長期貸付金		146	181
破産更生債権等		1,220	1,692
繰延税金資産		186	182
その他		894	852
貸倒引当金		△ 1,351	△ 1,764
資 産 合 計		<b>66,628</b>	<b>65,231</b>

(単位:百万円)

科 目	期 別	(単位:百万円)	
		当 期 (平成23年3月31日現在)	前 期 (平成22年3月31日現在)
<b>負債の部</b>			
流 動 負 債		<b>38,539</b>	<b>42,745</b>
支払手形及び買掛金		17,469	17,798
短期借入金		16,949	20,831
リース債務		446	420
未払法人税等		355	211
未払消費税等		12	308
賞与引当金		719	689
その他		2,585	2,486
固 定 負 債		<b>13,512</b>	<b>8,366</b>
長期借入金		6,924	2,042
リース債務		2,284	1,718
繰延税金負債		413	396
再評価に係る繰延税金負債		433	433
退職給付引当金		2,396	2,311
役員退職慰労引当金		48	42
資産除去債務		158	—
負ののれん		408	800
長期未払金		38	187
その他		406	433
負 債 合 計		<b>52,052</b>	<b>51,112</b>

<b>純資産の部</b>			
株 主 資 本		14,771	14,025
資本金		6,495	6,495
資本剰余金		6,153	6,153
利益剰余金		2,363	1,596
自己株式		△ 241	△ 220
その他の包括利益累計額		△ 201	90
その他有価証券評価差額金		178	466
繰延ヘッジ損益		△ 2	1
土地再評価差額金		△ 377	△ 377
少 数 株 主 持 分		6	2
純 資 産 合 計		<b>14,575</b>	<b>14,119</b>
負 債 ・ 純 資 産 合 計		<b>66,628</b>	<b>65,231</b>

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 財務の概況

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	当 期	前 期
		[自平成22年4月1日 至平成23年3月31日]	[自平成21年4月1日 至平成22年3月31日]
売 上	高	319,127	317,482
売 上 原 価		296,128	294,175
売 上 総 利 益		<b>22,999</b>	<b>23,307</b>
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		21,810	22,455
営 業 利 益		<b>1,189</b>	<b>852</b>
営 業 外 収 益		<b>799</b>	<b>778</b>
受取利息		11	13
受取配当金		124	83
負ののれん償却額		392	392
持分法による投資利益		—	1
その他		270	287
営 業 外 費 用		<b>418</b>	<b>397</b>
支払利息		272	287
持分法による投資損失		1	—
貸倒引当金繰入額		78	26
その他		65	84
経 常 利 益		<b>1,569</b>	<b>1,232</b>
特 別 利 益		<b>526</b>	<b>22</b>
投資有価証券売却益		340	22
固定資産売却益		37	—
受取保険金		35	—
その他		113	—
特 別 損 失		<b>470</b>	<b>134</b>
災害による損失		135	—
投資有価証券評価損		65	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額		65	—
減損損失		39	74
固定資産除却損		38	30
関係会社株式評価損		20	30
その他		105	—
税金等調整前当期純利益		<b>1,626</b>	<b>1,120</b>
法人税、住民税及び事業税		341	142
法人税等調整額		185	123
法人税等合計		527	265
少数株主損益調整前当期純利益		<b>1,098</b>	<b>854</b>
少数株主利益		3	1
当 期 純 利 益		<b>1,095</b>	<b>853</b>

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

科 目	株 主 資 本				
	資 本金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計
当 期 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)					
平成22年3月31日残高	6,495	6,153	1,596	△ 220	14,025
連結会計年度中の変動額					
剰 余 金 の 配 当			△ 328		△ 328
当 期 純 利 益			1,095		1,095
自 己 株 式 の 取 得				△ 21	△ 21
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計	—	—	766	△ 21	745
平成23年3月31日残高	6,495	6,153	2,363	△ 241	14,771

科 目	その他の包括利益累計額				少数株主 持 分	純 資 産 合 計
	その他有価証 券評価差額金	繰延ヘッジ 損 益	土地再評価 差 額 金	その他の包括 利益累計額合計		
平成22年3月31日残高	466	1	△ 377	90	2	14,119
連結会計年度中の変動額						
剰 余 金 の 配 当						△ 328
当 期 純 利 益						1,095
自 己 株 式 の 取 得						△ 21
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	△ 287	△ 4		△ 292	3	△ 288
連結会計年度中の変動額合計	△ 287	△ 4	—	△ 292	3	456
平成23年3月31日残高	178	△ 2	△ 377	△ 201	6	14,575

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	当 期	前 期
		[自平成22年4月1日 至平成23年3月31日]	[自平成21年4月1日 至平成22年3月31日]
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		△ 484	6,223
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		115	△ 284
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		112	△ 5,655
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額		—	—
V. 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△ 256	283
VI. 現金及び現金同等物の期首残高		2,571	2,206
VII. 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		—	80
VIII. 現金及び現金同等物の期末残高		2,314	2,571

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



## OUGホールディングス株式会社

### 会社概要

**主要な事業内容** 定款に定められた事業を営むこと、ならびに定款で定められた事業を営む会社およびこれに相当する事業を営む外国会社の株式もしくは持分を保有することにより、当該会社の事業活動を支配、管理することおよびこれに関連する業務を行うことを目的としております。

**設立** 昭和21年6月12日(創業 昭和22年10月)  
**資本金** 6,495百万円  
**発行済株式総数** 55,622,921株  
**従業員数** 33名

### 役員 の 体制

取締役	代表取締役社長	谷川正俊
	取締役	下川真二
	取締役	村松保範
	取締役	三輪光幸
	取締役	薄波卓郎
監査役	常勤監査役	谷和道雄
	監査役	村中義美 (社外監査役)
	監査役	岡本宏 (社外監査役)
	監査役	富田英孝 (社外監査役)
執行役員	常務執行役員	原田史郎
	常務執行役員	草場裕樹
	常務執行役員	中江一夫
	執行役員	玉田耕也

## 株式の状況

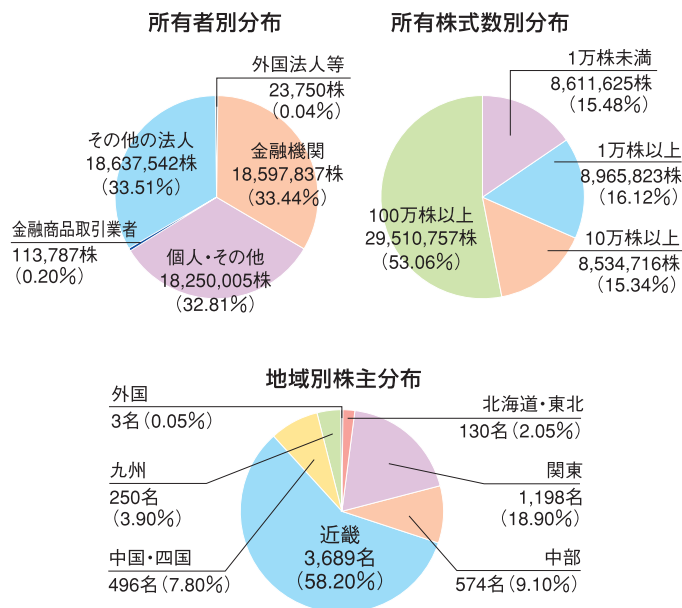
発行可能株式総数	209,159,000株
発行済株式の総数	55,622,921株
株主数	6,340名

## 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社 マルハニチロホールディングス	7,450	13.51
日本生命保険相互会社	3,680	6.67
農林中央金庫	2,636	4.78
株式会社みずほ銀行	2,581	4.68
丸紅 株式会社	2,000	3.63
株式会社りそな銀行	1,842	3.34
株式会社 三菱東京UFJ銀行	1,742	3.16
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (中央三井アセット信託銀行再信託分・CMTB エクイティンベストメンツ 株式会社信託口)	1,600	2.90
三菱UFJ信託銀行 株式会社	1,519	2.75
株式会社 大丸松坂屋百貨店	1,154	2.09

(注) 持株比率は、自己株式(465,880株)を控除して計算しております。

## 株式分布



当社は、株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに、当社株式への投資魅力を高め、中長期的に保有していただける株主様の増加を図ることを目的として、株主優待制度を実施しております。

## 株主優待制度

### (1) 対象株主様

毎年9月末日現在の株主名簿に記載または記録された、1単元（1,000株）以上の株式を保有していただいている株主様を対象といたします。

### (2) 優待の内容

- 1,000株以上5,000株未満ご所有の株主様へ3,500円相当の水産加工品を贈呈
  - 5,000株以上ご所有の株主様へ7,000円相当の水産加工品を贈呈
- 数種類の品目より選択していただきます。

### (3) 贈呈時期

毎年、12月上旬を予定しております。



干物セット  
(3,500円相当)



ほたて貝柱  
(3,500円相当)



ずわいかにしゃぶ  
(7,000円相当)



塩紅鮭切身  
(7,000円相当)

昨年、ご好評いただいた優待商品のうち代表的なもの

### 単元未満株式の買取請求について

#### (1) 買取請求について

単元株（当社の場合 1単元:1,000株）に満たない株式を、発行会社に対して市場価格にてその株式を買取よう請求することができます。

#### (2) 買取請求の手続きについて

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、ご所有の単元未満株式が特別口座に記録されている場合は、特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。（株主メモをご参照ください。）

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更等の各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続き用紙のご請求につきましては、三菱UFJ信託銀行(口座管理機関)の以下のお電話およびインターネットでも24時間承っております。
  - ・ 東京 TEL 0120-244-479 (通話料無料)
  - ・ 大阪 TEL 0120-684-479 (通話料無料)<http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

上場金融商品取引所	大阪証券取引所市場第一部 (証券コード 8041)
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載の当社ホームページアドレス <a href="http://www.oug.co.jp">http://www.oug.co.jp</a>

### 免責条項

本報告書に掲載している将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。

## UGホールディングス株式会社

〒553-0005 大阪市福島区野田2丁目13番5号  
うおいちニッセイビル5階  
TEL:06-4804-3031 FAX:06-4804-3145  
URL <http://www.oug.co.jp>

## Web Information

当社HPでは、当社の最新ニュースを株主・投資家の皆様に向け、発信しております。IRニュースや決算発表を行うページ、グループ各社の紹介等、様々な情報を掲載しておりますので、是非ご活用ください。

COMPANY  
PROFILE

GROUP  
VISION



TOP PAGE

<http://www.oug.co.jp>